

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協 ひろば

第38号 (準備会から通算第59号)

発行日 令和2年6月13日

発行所 逗子市久木2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 田倉 由男

・・・自粛期間明け/新型コロナウイルス感染抑制と経済、文化、市民活動等再開の両立への模索・・・

政府、及び神奈川県の高い自粛期間は解除されましたが、引き続き新型コロナウイルスの感染リスクは高く、現在「ウイルスの感染リスクを回避しつつ経済、文化、市民活動及日常生活の充実を如何に図って行くか」という難しい命題に暫くは直面して行かざるを得ません。

久木住民協の活動も従来の課題に加えて新たな大きな課題に取り組む事になります。

久木住民協では6月より活動を再開しますが、当月は役員会は休止し、「ふれあい部会」「こども部会」「減災部会」「会館運営/拠点部会、新拠点部会」が各部会毎に新型コロナウイルスへの対応と今後の事業活動の展開について議論をして貰い、来月7月4日に自粛期間明けの役員会を開催し、全体会議で各部会よりの報告を受け、全体で検討を行う事を予定しています。

現在事務局で想定するだけでも以下の新たな課題が想定されます。

- ・「こども部会」→毎回100名を優に超えるみんなの食堂の運営をどうするか。(2月～6月までウイルス対応として休止)
- ・「減災部会」→避難所等新型コロナウイルスの対応を含めて避難態勢の再検討。
- ・「拠点部会」→新型コロナウイルス対応を含めた具体的な会館運営の再検討。
- ・「ふれあい部会」→従来のふれあいサービスの対象項目と新型コロナ対応との再検討。

久木住民協は引き続き住みやすく、助け合いに溢れた、魅力ある地域を目指して活動を展開して参ります。

久木住民協 事務局

令和2年5月度役員会

新型コロナウイルス感染予防のため休会となりました。又、みんなの食堂を含めて各部会活動も休止となりました。

尚、状況を見ながら6月度より可能な範囲で部会活動を、7月度より役員会を再開する予定です。

トピックス

シマヘビがマムシを食う・・・「青大将がウサギを食う」に続いてまた蛇の変な話か、といわれ

ると恐縮ですが、またまた面白い蛇の写真が提供されましたので、是非皆様に紹介しておきたいと思います。「シマヘビがマムシを呑み込もう」としている写真です。

写真を提供していただいた方は、当会会員・久木在住の池田淑美さんのご子息で桜山在住の池田陸郎さん。葉桜団地の水道タンクの近くの山道をランニングしていた際、出くわしたそうです。

その時の池田さんのコメント：

「山道を息子とランニングしていたところ、ヘビの塊が道の真ん中に鎮座しており、マムシでなかったためしばらく観察。最初は単体のアクシデントかと思ったが、どうも尾の本数が2本見える。

しばらくすると塊がほどけてマムシの幼体を飲み込み中のシマヘビの全容を確認できた。

こちらを警戒して去ろうとするもマムシを咥ええたままで俊敏に動けない様子。最後はマムシが身をよじってシマヘビと共に森の中へ去っていきました。」

シマヘビは大きなものでは150センチほどになる大型の蛇に対して、マムシは50センチほどの大きさ。動きもシマヘビの方がはるかに良い。といったことから蛇の世界では、人の感覚とは違った強弱があるようです。人はマムシの持つ毒をもって怖いと感じ、それから強いと連想してしまうのですが、これは間違った先入観のようです。

シマヘビは無毒の蛇、但し鋭い牙があり破傷風等の病原菌を持つから、咬まれたら必ず傷口を十分に洗浄することが必要とのこと。



(山の根在住 鈴木 為 之)

編集後記

長い自粛期間が明け新型コロナウイルスの感染のリスクを回避しながら、久木住民協の活動を展開して行かなければならない。新型コロナウイルスとの共存を賢く図りながらの新たな再出発である。緊急事態宣言中は、兎に角人との接触を避けることを再優先に stay home が叫ばれた。しかし乍ら人との接触抜きで本質的には経済活動も文化活動も地域の活動も展開出来ない。世間では不要不急の活動は当面取り止めと言ひ、地域の活動もややもすると後回しにされがちなのかも知れない。

しかし我々はより住み易く創造性に溢れた地域を目指す価値の高い活動を展開し度い。その意味では不要不急ではないと考える。感染を避け乍ら、質の高い地道な活動を展開し度い。社会の一般的な閉塞感が拡大基調にある中、地域としてブレイクスルーしなければならない大きな課題が増えた。新型コロナ対応については「住民協ひろば 4 月号」で掲載した WHO の活動指針、

*Safety, Smart, Kind を肝に銘じて挑戦して行き度いものだ。

※Safety/安全に・・・ウイルスに対して、手洗い、マスクの着用、3 蜜の回避等安全なリスク回避の徹底を図ること。

Smart/賢く・・・ウイルスの対応について根拠のある正しい対応を取ること、またデマ等の情報に対して正しく分析して対応を取ること。

Kind/親切に・・・不幸にも感染した人・家族、医療従事者、社会を支える人々に対して寛容で、親切で、思いやりを持った行動を取ること。

事務局長 石 井 達 郎